

## 身体的所見から確認できる副作用の重症度分類

身体的所見	副作用重症度		
	グレード 1	グレード 2	グレード 3
便秘	不定期に下剤を使用	定期的な下剤の使用	排便を要する頑固な便秘
下痢	3回/日の排便の増加	4-6回/日の排便の増加	7回/日以上排便の増加
口内炎	治療を要さない軽度の症状	経口摂取に支障のない中等度の疼痛、 食事の工夫が必要	経口摂取に支障のある高度の疼痛
食欲不振	摂食習慣の変化を伴わない食欲低下	食べられる食事が限られているが 顕著な体重減少は無い	経口摂取が難しい、点滴による補充が必要
悪心	吐き気あり	吐き気あり、顕著な体重減少を伴わない 経口摂取の低下	経口摂取が難しい、点滴による補充が必要
嘔吐	治療を要さない	外来での点滴を要する	入院を要する
疲労	休息により軽快	身の回り以外の日常生活動作の制限	身の回りのことができない
倦怠感	だるさがある	身の回り以外の日常生活動作を制限する だるさがある	だるさが継続し、身の回りのことができない
爪囲炎	浮腫・紅斑、角質の剥奪	疼痛を伴う浮腫・紅斑、角質の剥奪 身の回り以外の 日常生活動作の制限	外科的処置が必要 身の回りのことができない
体重減少	5-10%減少	10-20%減少	20%以上減少
味覚異常	食生活には変化のない味覚異常	不快な味・味の消失	
末梢神経障害	違和感あり	身の回り以外の動作に制限あり	身の回りのことができない
嗄声	たまに声がかれる	持続的に声がかれている	ほぼささやき声になる
手足症候群	疼痛を伴わない軽微な皮膚の変化	疼痛を伴う皮膚の変化、身の回りのことはできる	疼痛を伴う皮膚の変化、身の回りができない

CTCAE ver.5.0を参考に改編